

IV. 6 環境と調和する都市づくり方針

(1)課題

■自然環境の保全の課題

- ・本市は、気候が温暖で、海・川・丘陵・田園といった豊かな自然に囲まれています。里山の荒廃化、ごみの不法投棄や資材の野積みなどにより、山林や田園などの自然的土地利用は減少しており、貴重な自然環境をどのように守っていくかが課題です。

■都市環境、生活環境の課題

- ・大気汚染や騒音・振動、悪臭などへの対応のため、工場等の適正な配置や緑化など周辺環境と調和した土地利用の誘導が課題です。
- ・水質汚濁に対しては、公共下水道や農業集落排水施設の整備、合併処理浄化槽の設置が課題です。
- ・環境負荷の増加や最終処分場の逼迫などの問題に対応するため、廃棄物の排出をできるだけ抑制すると共に、排出されたごみは資源として最大限活用し、適正に処理することが必要であり、ごみ処理の広域化を含めた総合的な対策が課題です。

(2)基本的な考え方

- ・海・川・丘陵など貴重な自然やみどりは、美しい姿を維持しながら、次世代につないでいきます。
- ・市民と共に、地球温暖化に対応する循環型地域社会に向けての取組みを進め、環境と調和した自然豊かな持続可能な都市づくりをめざします。

(3)基本方針

【自然の保全の方針】

イ. 海・川・丘陵など貴重な自然やみどりの保全

【環境にやさしい都市づくりの方針】

ロ. 環境にやさしい循環型都市システムの形成

ハ. 環境と調和する都市環境及び生活環境の保全と創出

(4)自然の保全の方針

イ. 海・川・丘陵など貴重な自然やみどりの保全

■自然環境の保全

- ・本市の貴重な自然環境である平塚海岸、相模川や金目川などの川、そして西部丘陵地などについては、その維持及び保全に向けて、自然を守る組織の活動を支援し、守るべき土地の確保（借り上げなど）などを市民との協働のなかで進めます。

■田園のみどりや海辺のみどりの保全

- ・田園は、農業生産の場であると共に、多様な生物のすみかにもなっています。身近なみどりや季節感あふれる風景であり、その多面的効用を果たすよう保全に努めます。
- ・海岸沿いにある松林や砂浜は、貴重なみどり、自然景観として、レクリエーションや交通環境との共存による適正な維持及び保全に努めます。また、松林周辺の風致地区は、市街地の動向や周辺の住環境との調和に配慮した適正な管理を行い、良好な住環境の形成に努めます。
- ・より良い海辺とするため、砂浜の浸食対策や養浜^(注)を進めます。

注：養浜：海辺に土砂（砂）を人工的に供給し海浜を回復すること



海（湘南海岸公園）



川（相模川・銀河大橋付近）



丘陵（谷戸田・土屋）

(5)環境にやさしい都市づくりの方針

□. 環境にやさしい循環型都市システムの形成

■環境負荷の少ない循環型都市システムの形成

- ・市民と企業、市が協力して、地球温暖化効果ガスの排出量を削減し、環境負荷の少ない循環型都市システム^(注)を形成します。

注：環境負荷の少ない循環型都市システム：環境に配慮した都市の体系や制度

- ・道路・交通分野では、環境負荷の少ないエネルギー利用を進めると共に、道路網の体系的整備や道路環境の向上により交通流動を円滑化しつつ、自動車利用の抑制と公共交通中心の都市づくりを進めます。
- ・産業分野では、ゼロエミッション^(注)化やクリーンエネルギーの導入、産業廃棄物等のリサイクル、建物における雨水などの中水利用を働きかけます。

注：ゼロエミッション：産業界における生産活動の結果排出される廃棄物をゼロにし、廃棄物や廃熱として捨てられているものを必ず活用して、無駄に燃やされたり、埋められたりしないようにすること

- ・家庭や業務の分野では、省資源・省エネルギーやリサイクル、クリーンエネルギー導入などと共に、住宅やオフィスなどの建築物は長く大切に使うよう働きかけます。

■環境教育

- ・本市の持続的な発展のため、幼児から大人まで、環境にやさしい行動を通して、環境の価値を認識できるよう環境教育を取り入れた都市づくりを進めます。

ハ. 環境と調和する都市環境及び生活環境の保全と創出

■ツインシティ（大神地区）における環境共生型の都市づくり

- ・ツインシティ（大神地区）は、本市の環境共生モデル都市としての実現化のため、環境共生型の都市づくりを進めます。

■大気汚染や騒音・振動・悪臭防止などに対応する土地利用の誘導

- ・大気汚染や騒音・振動、悪臭防止などへの対応として、適正な土地利用による工場等の配置、緑化など周辺環境と調和した土地利用の誘導に努めます。

■水質汚濁への対応としての下水道整備

- ・下水道の整備にあたっては、市街化区域は未整備区域の整備を引き続き進めると共に、特に駅南側については、河川に対する水質汚濁や悪臭の問題、豪雨などに対応するため、合流式から分流式へと整備を進めます。
- ・市街化調整区域は公共下水道や農業集落排水施設の整備及び合併処理浄化槽の設置を進めます。

■ごみ処理の広域化、ごみの減量化・再資源化

- ・計画的にごみの減量・再資源化を進めるため、自治体間での広域処理を進めます。
- ・広域によるごみ処理の役割分担を視野に入れながら、老朽化している環境事業センターなどのごみ処理施設については、周辺環境に配慮しつつ、施設の整備を進めます。